

## 高等学校説明会

9月17日(木)5・6限に体育館で3年生進路学習の「高等学校説明会」を開催しました。10の高等学校から先生方や高校生(西中卒業生)に来ていただき、それぞれの高等学校の校風などを説明していただきました。3年生の保護者もご案内し、感染拡大防止対策を講じ、ご協力いただいていたました。

説明会の冒頭、校長あいさつで2つのお願いをしました。

- ① 志望校を決めている・決めていないに関わらず、説明されている高等学校に入学し、その高校生活の中でどんな力をつけて(どのように自分を伸ばして)卒業する自分をイメージしながら各高等学校の説明を受けてほしい。
- ② 時間の関係上、説明は1校15分以内であるが、3年生のみなさんに自校(高校)の説明をするために、説明時間の何倍も十何倍もの時間をかけて準備されていて、その思いをしっかりと受け止めながら説明を受けてほしい。

### 高等学校説明会 \*説明順

- 1 西日本短期大学附属高等学校
- 2 八女学院高等学校
- 3 祐誠高等学校
- 4 久留米学園高等学校
- 5 杉森高等学校
- 6 城北高等学校
- 7 八女高等学校
- 8 八女工業高等学校
- 9 福島高等学校
- 10 八女農業高等学校



あいさつの後、私は随時お越しになる高等学校の方々をお迎えするために控室(ミーティングルーム)にいました。各高等学校の説明が終わると気持ちよく拍手が鳴り、高等学校の方々控室に戻ってこられます。どの高等学校の方々も口々に「みなさんが(どの生徒さんも)、熱心に説明を聴いてくれました」と言われ、笑顔で帰っていかれました。約3時間の説明をしっかりと受けてくれたことをうれしく思うと同時に3年生の底力を感じました。

感染拡大防止対策のため、これまでの日常が送れない日々が続いています。しかし、困難の渦中だからこそ、自分で判断し行動する力がついてきていると思います。方法を工夫し、なかまと協力して、物事を成し遂げていく力もついてきていると思います。これは、3年生だけでなく、1年生も2年生もです。これらの力は、夢、そして、「なりたい自分」をめざし、実現に近づいていく力となります。今後も生徒一人一人の自己実現のために可能な限りの支援を図っていきます。よろしくお祈りします。

## 『自分の大切さ』って、何でしょう ①

『自分の大切さ』って、何だと思えますか。私が思う『自分の大切さ』をいくつか挙げてみます。

- 「自分」は唯一無二の存在であるということ。「自分(私)」は「自分(私)」以外にはいない。
- “いのち”ある存在であるということ。“いのち”そのものであり、生きている。すばらしい。そして、今の「自分」がいるのは、「自分」につながるたくさんの“いのち”があるということ。
- 家族にとって、かけがえのない大切な存在であるということ。なかま(友だち)にとって、かけがえのない大切な存在であるということ。「自分」に関係する人々にとって、かけがえのない大切な存在であるということ。
- 様々な可能性を豊かに持ち、その可能性を広げたり、伸ばしたりすることができるということ。
- この世には、「自分」(の力)を求めている人が必ずいるということ。つまり、必ず誰かの役に立てるとのこと。その人とは、すでに会っているかもしれないし、将来に会うかもしれないけれども、必ずいるということ。
- 「自分」のことが好きな「自分」。ありのままの「自分」。

他にもまだまだあると思えます。『自分の大切さ』って、何でしょう。『自分の大切さ』について、自分自身で考えたり、家族や友だちと意見を交わし合ったりしてみてください。

(文責 木村彰男)